

令和3年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画 事業報告

資料2-1

1. 地域包括支援センターの方針(町の方針をもとに、圏域の特色や課題分析を踏まえて)

・南部包括の担当圏域は65歳以上人口4374人、高齢化率19.5%(令和2年9月末日現在)であり、若い世代が多い兵庫小学校区(高齢化率8.6%)以外の地域では一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加している。
 ・相談の多くは介護保険関係だが、アンケートや包括独自の聞き取りでは、買い物、移動手段、ゴミ出し、認知症高齢者の対応、住民同士のつながりの希薄化などの地域課題があるとの意見が聞かれている。これらの多様で複合的な地域課題について、各地域の力を活かした支え合いに取り組むとともに、多職種との連携強化を図りながら支援をしていく。

2. 事業別の実施内容

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
1. 総合相談支援業務			
① 実態把握	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室の活用及び自治会や民生児童委員、関係機関との連携を通じて、地域の高齢者の情報収集を行う。 ・出前講座や集いの場へ出向き、地域の課題やニーズを把握し、早期対応する様に取り組む。 	情報収集 随 時 出前講座 年24回	情報収集 随 時 出前講座 年11回
② 総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・相談記録を速やかに作成し、地域包括支援センター(以下「包括」という。)内での情報共有を毎日行う。 ・高齢者の総合相談窓口としての役割の周知について、出前講座や集いの場への巡回訪問を通じてPRしていく。 ・町や民生児童委員、自治会、関係機関との情報交換を密にし、様々な相談内容について総合的に相談できる体制を作る。 	情報共有 日1回以上 巡回訪問 年24回以上 相談体制 随 時	情報共有 日1回以上 巡回訪問 年60回 相談体制 随 時
③ 地域におけるネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシやパンフレットを作成し、地域の集いの場や自治会、商業店舗等に対して積極的に広報活動を行う。 ・多様な相談に対応するため、町や自治会、民生児童委員、関連機関と連携しながら支援を行う。 	広報活動 年6カ所 連携支援 随 時	広報活動 年8カ所 連携支援 随 時
④ 家族介護者への相談支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者の集いの場や認知症カフェにおける相談支援を通じて、家族介護者の負担の軽減や具体的困りごとへの対応を行う。 ・家族介護者の支援についてのチラシやパンフレットを窓口へ設置し、地域住民に対して情報提供を行う。 	相談支援 随 時 情報提供 随 時	相談支援 年25回 情報提供 常時

【具体的な取組内容や実績値について】
 集いの場や自治会に包括業務のパンフレットやチラシを設置・配布した他、出前講座(11回)、お元気サロン(10回)、認知症カフェ(10回)などにて、実態把握や包括のPR、家族介護者の支援を行うと共に、民生児童委員定例会(6回)や自治会訪問、老人会訪問(部田、春木台、西白土、部田山)、薬局訪問(りんご、Vドラック、松山、あいち、アイリス、スギ)などにおいて関係づくりに努めた。包括内でサービス未利用者及びお元気訪問者の情報を共有し、継続的に関わった。

【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】
 引き続き、集いの場へはもれなく参加し、「(わざわざ役場や東郷苑へ行かなくても)ここへ来れば包括に相談ができる」と思ってもらえるよう、相談窓口の周知に努める。また、家族介護者、殊に男性介護者の支援に注力する。ネットワークの構築については、スーパーとコンビニにも広報活動を広げていく。

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
2. 権利擁護業務			
①成年後見制度の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症等により、判断能力の低下がみられる高齢者に対し、日常生活自立支援事業や成年後見制度の活用を図る。 ・成年後見制度の円滑な利用にあたり、町や尾張東部権利擁護支援センターなどの関係機関との連絡調整を行う。 	制度活用 随時 連絡調整 随時	制度活用 年2件 連絡調整 年4件
②高齢者虐待の防止及び対応	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の早期発見、防止に努め、発生が疑われる時には速やかに町や警察を含めた関係機関と連携を図り、対応を行う。 ・権利侵害を防止し、早期発見につなげる為、福祉イベントや講座、研修を通して地域住民、民生児童委員、介護支援専門員、サービス事業者等へ知識や対応策の普及啓発活動を行う。 ・介護支援専門員が家族等との関係性を損なわずに虐待対応ができるよう後方支援を行う。 	連携支援 随時 普及啓発 随時	連携支援 年4件 普及啓発 年4ヶ所
③困難事例への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やその家族に経済困窮、障害、判断能力の低下等の課題が重層的にある場合、また、社会からの孤立や介入拒否がある場合には、包括の専門職種が相互に連携して対応する。さらに、家族、地域、町、医療職、その他関係者を交えた個別支援会議を実施し、協働して支援を図る。 	連携支援 随時	連携支援 年67件
④消費者被害の防止への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやチラシを窓口に設置する他、出前講座や集いの場、認知症カフェ等において、地域住民に対し消費者被害に関する情報を周知し、注意を促す。 ・消費生活被害の相談を受けた場合は、町や消費生活センター等と連携して支援を行う。 	普及啓発 随時 連携支援 随時	普及啓発 随時 連携支援 年0件
【具体的な取組内容や実績値について】			
成年後見制度については、尾張東部権利擁護支援センターや町、担当介護支援専門員と連携しながら対象者に制度の説明や申請に係る支援を行った(4件)。虐待防止(4件)については、町や愛知警察署などの関係機関と連携し、迅速な対処、予防に努めた。処遇困難事例については、その相談内容に応じて親族や町、民生委員、医療機関と連携をとり、協働して支援を行った。			
【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】			
成年後見制度に関しては、制度の円滑な利用ができるよう、町や尾張東部権利擁護支援センターと連携をとりながら支援を進めていく。虐待に関しては、予防の視点を持ちながら支援に努めると共に、虐待が疑われる場合には速やかに町や愛知警察署などの関係機関と連携を図り、対応する。困難事例については、チームで支援にあたると共に、個別ケース会議を開催し、協働して支援を行う。消費生活被害については、集いの場などにおいて、愛知警察署と協働して周知啓発を図る。			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務			
①包括的・継続的なケア体制の構築	・高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じて、家族、地域、民生児童委員、介護支援専門員、サービス事業者、医療職等が連携し、多職種相互の協働による包括的・継続的な支援を行える体制を整える。 ・地域の介護支援専門員が介護保険サービス以外の様々な社会資源を活用できるよう情報を整理し、共有する。	体制整備 随時 整理共有 随時	体制整備 随時 整理共有 随時
②地域における介護支援専門員のネットワークの構築と活用	・町や北部包括、豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし(以下「かけはし」という。)等の関係機関と連携し、介護支援専門員の連絡会、事例検討会、研修会等を通じて、介護支援専門員相互の情報交換やネットワークの構築が出来るよう支援する。	ネットワーク構築 随時	ネットワーク構築 随時
③日常的個別指導・相談及び支援困難事例等への指導・助言	・地域の介護支援専門員の日常的業務の実施に関し、相談しやすい環境を整えるとともに、サービス計画の作成に関する助言や指導、サービス担当者会議への参加等、必要に応じて専門的な見地からの個別指導、相談への対応を行う。	助言指導 随時 相談対応 随時	助言指導 随時 相談対応 随時
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、日頃の支援に加え、認知症カフェなどを通じた家族支援や自治会訪問、老人会訪問(4ヶ所)、薬局訪問(6事業所)を実施した。地域の介護支援専門員が介護保険以外の様々な社会資源を活用できるよう、医療・介護の情報、福祉サービス、状況に応じて入所できる施設等の情報を整理し、共有した。町や北部包括、豊明東郷医療介護サポートセンター等の関係機関と連携し、介護支援専門員連絡会(2回)、多職種ミーティング(5回)などの参加を通じて、介護支援専門員相互の情報交換やネットワークの構築が出来るよう支援した。地域の介護支援専門員が相談しやすいよう、何か困りごとはないか常に配慮し、必要に応じて相談・指導・訪問同行などの後方支援を行った(67件)</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 住民や専門職が連携して支援できるよう、医療・介護の専門職だけでなく、民生委員や自治会、老人会といったインフォーマルな団体との関係づくりをするため、訪問や電話によるPRを行う。町や北部包括、豊明東郷医療介護サポートセンターが行う介護支援専門員連絡会や研修に参加し、介護支援専門員相互の情報交換やネットワークの構築が出来るよう支援する。地域の介護支援専門員の相談を受け、必要に応じて相談・指導・訪問同行などの後方支援を行う。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
4. 第1号介護予防支援事業	・公的サービスとインフォーマルサービスを活用したケアマネジメントを実施し、高齢者自身が地域において自立した日常生活が送れるよう支援する。 ・委託した事例についても同様の支援が行われる様、適切に関与していく。	生活支援 随時 委託管理 随時	生活支援 年603件 委託管理 年156件
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 要支援者がその心身の状況、おかれている環境その他の状況に応じて、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスを活用したケアマネジメントを実施し、高齢者自身が地域において自立した日常生活が送れるよう支援した。尚、委託したケースについても同様の支援が行われるよう、適切に関与した。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 引き続き、要支援者がその心身の状況、おかれている環境その他の状況に応じて、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスを活用したケアマネジメントを実施し、高齢者自身が地域において自立した日常生活が送れるよう支援をしていく。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
5. 在宅医療・介護連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 電子@連絡帳(レガッタネットとうごう)を活用し、多職種と情報共有しながら、利用者への支援を行う。 地域ケア推進会議やかけはし等との連携を図り、地域全体での切れ目のない見守り体制の構築を図る。 多職種カンファレンスやかけはし等が開催する研修会などを通じて、各職種の相互理解が深まり、関係が構築できるようにする。 	ICT活用 随時 体制構築 随時 多職種連携 随時	ICT活用 随時 体制構築 随時 多職種連携 随時
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 主に認知症初期集中支援チームや処遇困難事例について、電子@連絡帳を活用し、多職種が連携して支援を実施した。多職種ミーティング(5回)に参加をした他、薬局や医療機関を訪問し、医療関係者との関係の構築に努めた。東郷町地域ケア推進会議(4回)、在宅医療・介護連携推進部会(3回)、地域包括ケア等検討協議会(2回)、豊明東郷医療介護サポートセンター運営協議会(2回)及び町との巡回訪問を通じて、地域の課題の把握や他機関との連携に努めた。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 電子@連絡帳(レガッタネットとうごう)を必要に応じて活用する。多職種連携にかかる研修や在宅医療・介護連携推進部会などの会議に参加し、地域の課題の把握や他機関との連携に努めていく。また、地域の医療に関する相談をかけはしへつなぎ、連携して支援をしていく。在宅医療・介護マッププロジェクトチーム員として、誰もがわかりやすい冊子作成に取り組む。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
6. 生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 包括利用者や地域住民、地域ケア会議、地域支え合い協議体、民生児童委員協議会定例会等の場を通じて得られた意見や情報を分析し、地域が抱える課題を把握する。 支え合い活動に関する地域住民の意識が向上するよう、町や地域支え合いコーディネーターと連携しながら、チラシを窓口を設置し、出前講座や集いの場において支え合い活動に関する情報の提供を行う。 	課題把握 随時 情報提供 随時	課題把握 随時 情報提供 随時
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 包括利用者や地域住民、町、地域支え合い協議体(7回)、民生児童委員協議会定例会(6回)、集いの場の巡回(60回)を通じて得られた情報を議事録や活動記録、総合相談受付票などを用いて包括内で共有及び課題を把握した。支え合い活動に関する地域住民の意識が向上するよう、町や地域支え合いコーディネーターと連携しながら自治会訪問などを通して支え合い活動に関する情報の提供を行った。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 地域ケア会議、地域支え合い協議体、民生児童委員協議会定例会などに参加すると共に、包括利用者や地域住民、町から得られた意見や情報を分析し、地域が抱える課題を把握し、対処していく。地域支え合いコーディネーターとの情報交換の機会を持ち、協働して地域住民による地域資源の立ち上げを支援する。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
7. 認知症総合支援事業			
①適切なサービスを提供するための関係機関との連携(運営方針(1)、(2)、(4)、(5))	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症地域支援推進員活動や個別事例の支援を通して、地域課題の把握に努める。 ・サービス利用や受診拒否等、対応が困難な事例については、包括内で協議のうえ、初期集中支援チームへつなげる。 ・包括との連携体制の構築を推進する為、医療機関や薬局、企業等の訪問を行う。 	課題把握 随時 連携支援 随時 地域訪問 年6ヶ所	課題把握 随時 連携支援 随時 地域訪問 年6ヶ所
②認知症の人の介護者への支援(運営方針(5)、(8))	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアパスを活用し、予測される症状に応じた適切な対応やサービスの説明を行う。 ・認知症カフェの開催や家族交流会等の参加を通して、認知症の方を介護している家族などのニーズや価値観を汲み取り、相談支援を行う。 ・出前講座や地域住民の集まりにおいて、認知症高齢者や家族の支援体制についての周知を図る。 	ケアパス活用 随時 カフェ開催 年24回 相談支援 随時	ケアパス活用 年8回 カフェ開催 年10回 相談支援 随時
③ 認知症の理解を深めるための普及・啓発(運営方針(1)、(3)、(6)、(7))	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の認知症の理解を深める為、認知症サポーター養成講座や認知症カフェを行う。また、搜索模擬訓練、福祉実践教室の開催に協力をする。 ・認知症支援施策検討会に参加し、認知症に関する普及・啓発や、認知症支援の取組内容の検討を行う。 	認知サポ講座 年6ヶ所 カフェ開催 年24回 検討会参加 年 3回	認知サポ講座 年3ヶ所 カフェ開催 年10回 検討会参加 年 6回
【具体的な取組内容や実績値について】			
<p>認知症本人やその家族がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、対象者にケアパスを用いて説明を実施(8件)し、医療機関や認知症地域支援推進員、初期集中支援チームなどの関係機関の紹介及び連絡調整を行った。また、認知症地域支援推進員を配置し、医療や生活支援など幅広く対応した他、認知症初期集中支援チーム事務局及びチーム員を配置し、認知症本人及びその家族の支援を行った(3ケース)。普及啓発活動としては、認知症ケアパスや認知症地域支援推進員、家族支援についてのパンフレットやPRチラシを窓口に設置し、周知を図った他、認知症サポーター養成講座や認知症カフェ、出前講座を実施し、認知症に関わる相談を受け付けると共に、幅広い世代に認知症に関わる説明を行った。</p>			
【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】			
<p>認知症本人やその家族に対し、刷新されたケアパスを用いて、様態に応じたサービスの流れをわかりやすく説明する。また、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、引き続き認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームなどと連携し、地域全体で対象者の暮らしを支える体制を整えていく。出前講座や集いの場、認知症カフェなどにおいて、認知本人やその家族の支援体制についての周知を図り、殊に男性介護者の支援に注力する。認知症初期集中支援チームについては、依頼件数が伸びるようPRをしていく。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
8. 一般介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の通いの場の充実と自立支援を目的として出前講座を実施し、地域住民の介護予防の取り組みを支援する。 ・高齢者の健康づくり、居場所づくり、社会参加を促すことで、要介護状態を予防する介護予防教室(お元気サロン)を実施する。 	出前講座 年24回 お元気サロン 年24回	出前講座 年11回 お元気サロン 年10回
【具体的な取組内容や実績値について】 集いの場の充実と自立支援を目的として、出前講座及びお元気サロンを実施した。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置期間中は、参加者に対し、電話もしくは訪問で近況の確認や相談の有無の確認を行った。			
【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 何らかの理由でお元気サロンが開催できない期間及びしばらく参加されていない方については、定期的に電話や訪問で状況の確認を行う。			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
9. 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、介護サービス事業所、介護支援専門員、民生児童委員等、ボランティア、地域の各サポーター等のインフォーマルサービスを含めた地域の関係者が、それぞれの専門性を活かしながら連携できるようなネットワークの構築を図る。また、地域の社会資源であるNPO法人、ボランティアセンター及びシルバー人材センター等との連携体制を整える。 	体制整備 随時	体制整備 随時
【具体的な取組内容や実績値について】 地域の関係者が、それぞれの専門性を活かしながら連携できるよう、薬局の訪問(6ヶ所)や医療機関の訪問(9ヶ所)、多職種ミーティングの参加(5回)、地域支え合い協議体の参加(7回)、介護支援専門員連絡協議会の参加(2回)などを通してネットワークの構築を図った。具体的な活動としては、電子@連絡帳の活用(6ケース)、地域の介護支援専門員の後方支援(67件)、民生児童委員及び自治会との連携を行った。			
【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 地域の関係者が、それぞれの専門性を活かしながら連携できるよう、在宅ケアを考える会や多職種カンファレンス、地域ケア会議、地域支え合い協議体などに参加し、ネットワークの構築を図ると共に、引き続き、電子@連絡帳の活用や介護支援専門員の後方支援等を行い、地域の課題に多職種で連携しながら対応をしていく。			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
10. 地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議を開催し、個の課題の支援を通じた地域課題の抽出を行う。 ・町が主催する地域ケア会議へ参加協力する。 ・地域ケア会議で明らかとなった地域課題や資源開発について、地域ケア推進会議で提案を行う。 	ケア会議 年12回 ケア会議(町) 随時 提案 随時	ケア会議 年7回 ケア会議(町) 年4回 提案 年0件
【具体的な取組内容や実績値について】 地域ケア個別会議にて、地域課題として気軽に集える場の不足・居場所づくりの必要性があがり、集いの場となりうる『自宅カフェ』のお試しをすることができた。			
【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 地域ケア個別会議から対象者の背景にある地域の課題を見つけ出し、地域住民や地域支え合いコーディネーターと協働して地域資源を立ち上げたい。			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
11. 指定介護予防支援業務	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者がその心身の状況、おかれている環境その他の状況に応じて、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスを活用したケアマネジメントを実施し、高齢者自身が地域において自立した日常生活が送れるよう支援する。 委託した事例についても同様の支援が行われる様、適切に関与していく。 	ケアプラン作成 随時 委託管理 随時	ケアプラン作成 年858件 委託管理 年387件
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 要支援者がその心身の状況、おかれている環境その他の状況に応じて、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスを活用したケアマネジメントを実施し、高齢者自身が地域において自立した日常生活が送れるよう支援した。尚、委託したケースについても同様の支援が行われる様、適切に関与した。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 引き続き、要支援者がその心身の状況、おかれている環境その他の状況に応じて、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスを活用したケアマネジメントを実施し、高齢者自身が地域において自立した日常生活が送れるよう支援をしていく。</p>			

3. 重点取組事項(自由記載)

<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、地域住民の認知症理解の向上、認知症地域支援推進員活動や個別事例を通じた地域の課題把握とネットワークの構築、初期集中支援チームや保健・医療・介護との連携による、切れ目のない支援の実施に努める。 地域包括ケアシステムの強化と推進の為、東郷町北部包括支援センターや行政、医療、その他関係機関との連携を深める。
<p>【具体的な取組内容や課題など】(2. で記載したもの以外)</p> <p>①地域活動の継続を支援する…集いの場の巡回にて参加者の困りごとの相談受けだけでなく、町や地域支え合いコーディネーターと連携し、集いの場の運営上の困りごとなどスタッフへの対応もしていく。また、今後活動者の高齢化が問題になってくることが予想される。活動者数の維持・確保にも協力したい。</p> <p>②支え合いや助け合いの仕組みづくりを住民と一緒に考えていく…困りごとを抱えている人を発見するために集いの場への巡回を継続するとともに、集いの場や出前講座などの機会を利用して支え合いについての周知啓発を行う。他に、地域支え合い協議体に参加し、地域で行われている支え合い活動や今後必要と思われる支え合い活動の情報を共有し、何ができるか、どうやったらできるかを一緒に考えていく。</p>

※ その他の実績値については、資料2-2「令和3年度 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業報告(実績値)」のとおり。